

グラフで見る東海経済(2022年2月)

2022年2月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～持ち直しの動きが鈍化

【今月のポイント】

- 生産(12月)は3ヵ月連続で増加。部品不足による生産調整で低水準であった輸送機械が引き続き増加している。
- トヨタの国内生産は9月を底に挽回してきているが、計画からは下振れとなる見込み。
- 輸出は、12月の実質輸出が前月比で3ヵ月ぶりに低下、1月の名目輸出が自動車の減少により前年比でマイナスとなるなど、足踏み状態となっている。
- 公共投資請負額(1月)は、愛知県、岐阜県で大幅増となったが、基調としては弱い動きとなっている。

項目	現状
景気全般	持ち直しの動きが鈍化(↓)
生産	持ち直しの動きがみられる
輸出	足踏み状態(↓)
設備投資	持ち直しの動きがみられる
雇用	横ばい圏で推移している
賃金	弱い動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい
公共投資	弱い動きがみられる

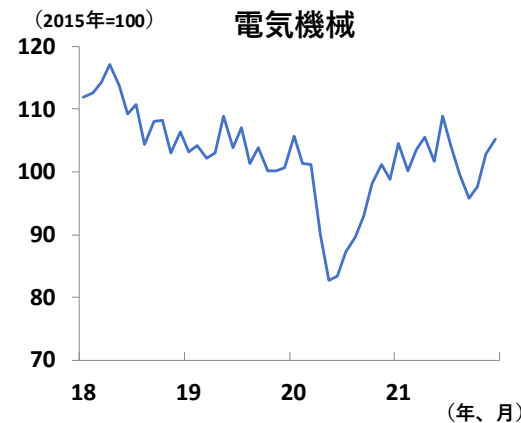
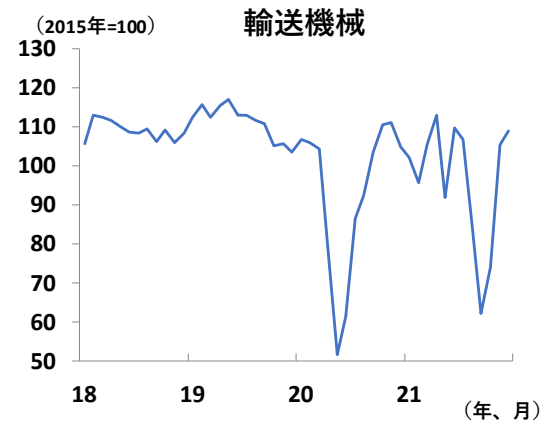
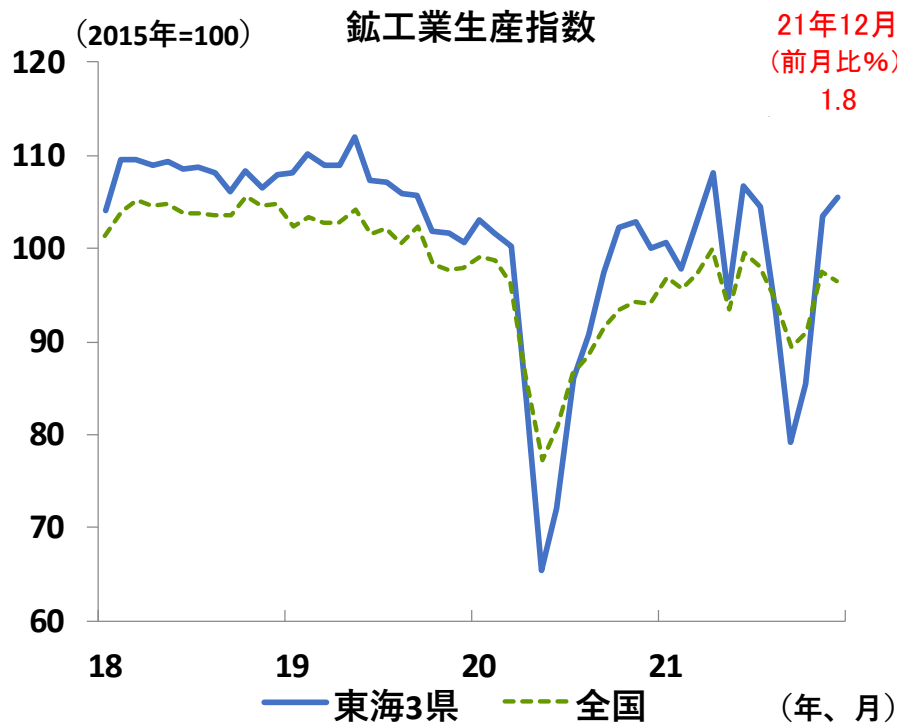
注: ()内は前月からの変化の方向

景気全般は、「持ち直しの動きがみられる」から下方修正(↓)

輸出は、「持ち直しの動きがみられる」から下方修正(↓)

生産

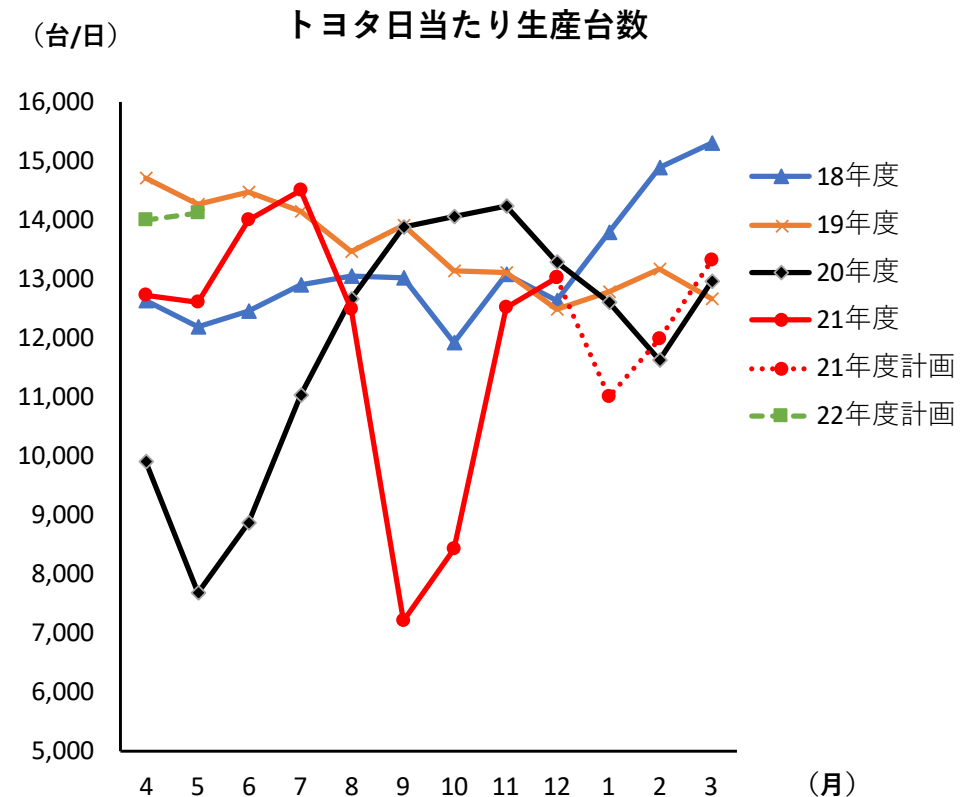
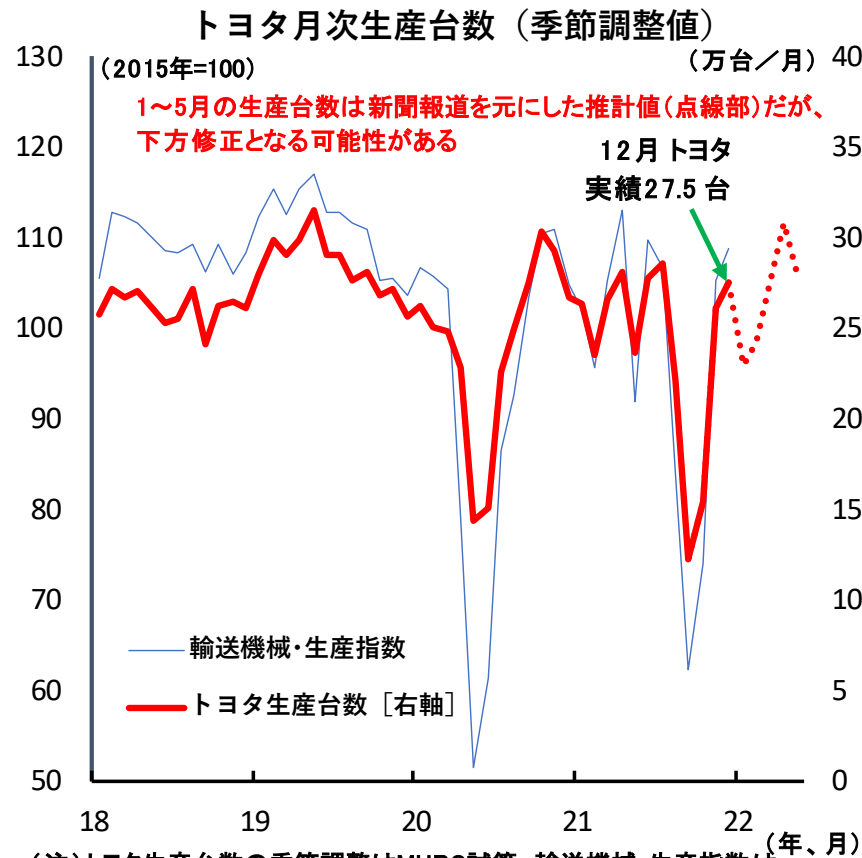
12月の鉱工業生産(東海)は前月比+1.8%と3カ月連続で増加した。電子部品デバイスが2カ月連続で低下したが、部品不足で生産調整をしていた輸送機械が3カ月連続で増加した。



(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ生産計画）

12月のトヨタ生産台数（弊社季節調整値）は27.5万台。部品調達難による生産調整で9月にボトムを付けて以降、水準を上げてきているが、1月以降も部品不足で工場が停止となるなど、下振れでの推移が見込まれる。春先以降は内外需要の底堅さを背景に均してみると持ち直していくとみられる。



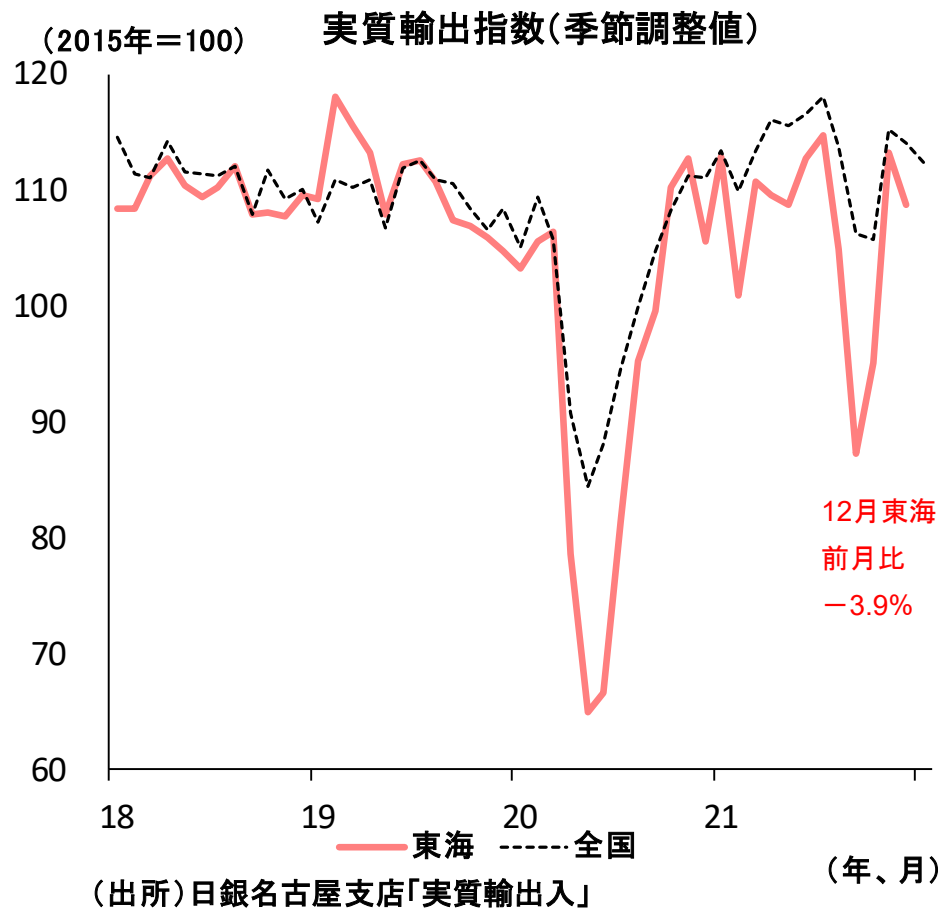
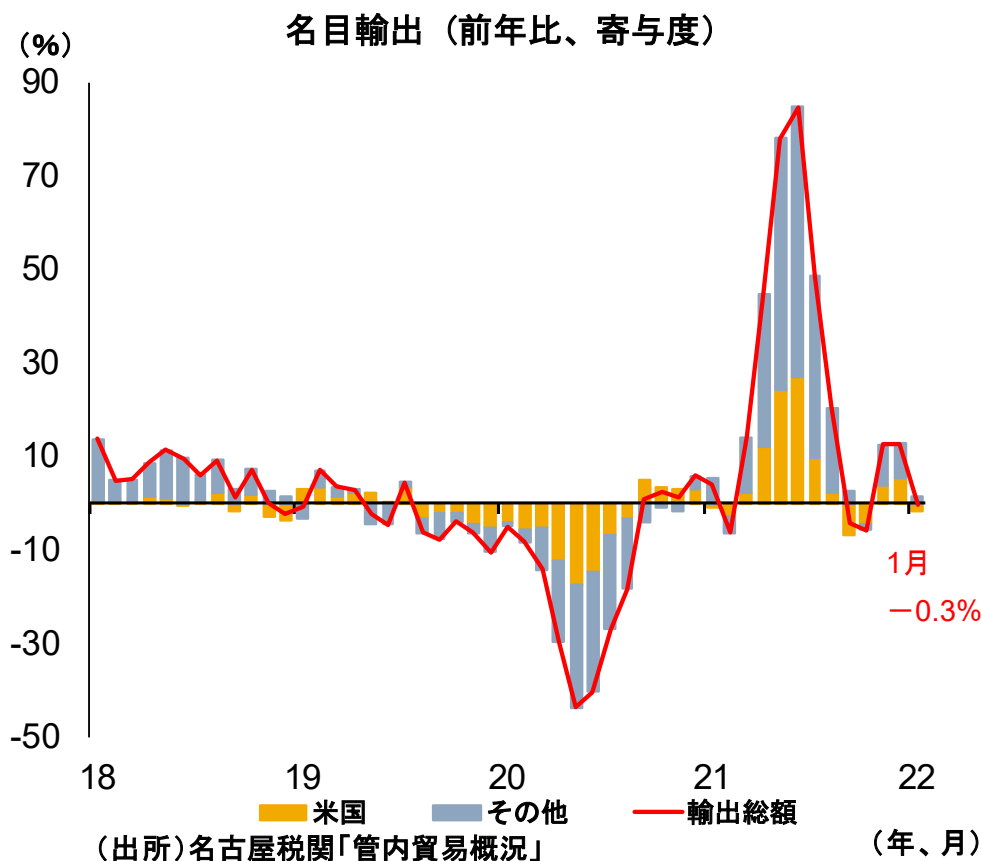
(出所) トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
 (出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

輸出

1月の名目輸出額は、前年比-0.3%と3カ月ぶりに減少した（一昨年比では3カ月連続で増加）。地域別では米国、アジア向けが減少した。品目別では自動車が同-10.2%と3カ月ぶりに減少となった。

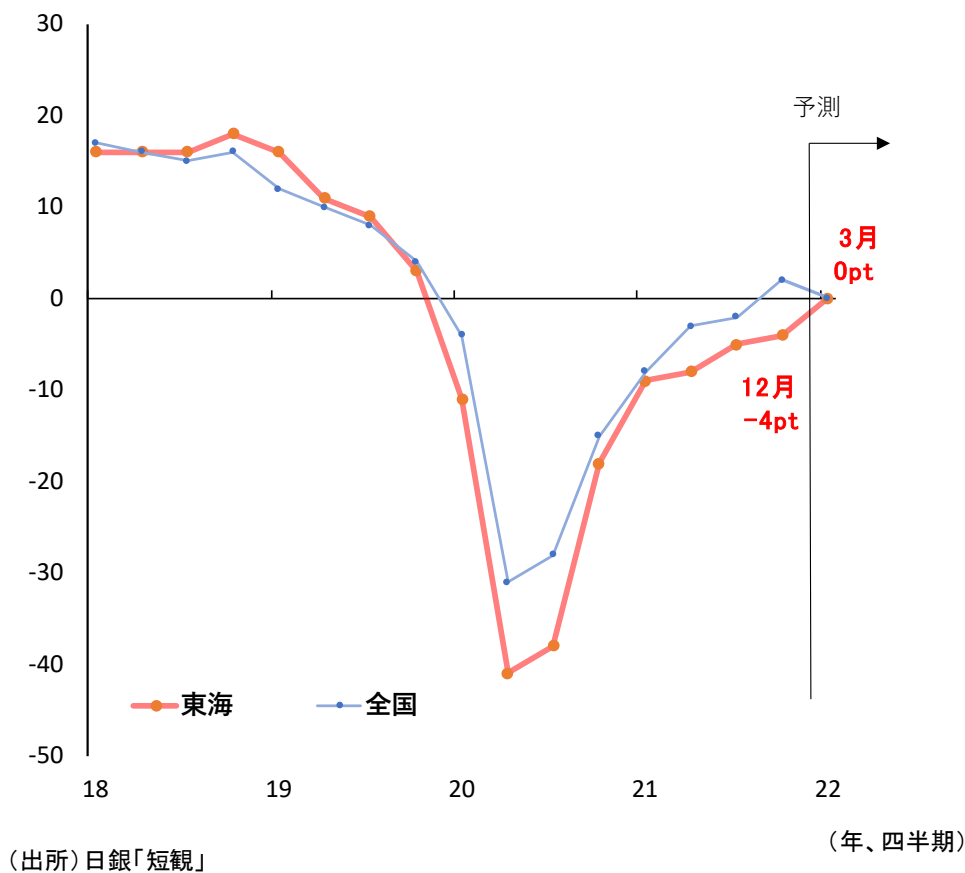
12月の実質輸出指数（季節調整値）は前月比-3.9%と3カ月ぶりに低下した。



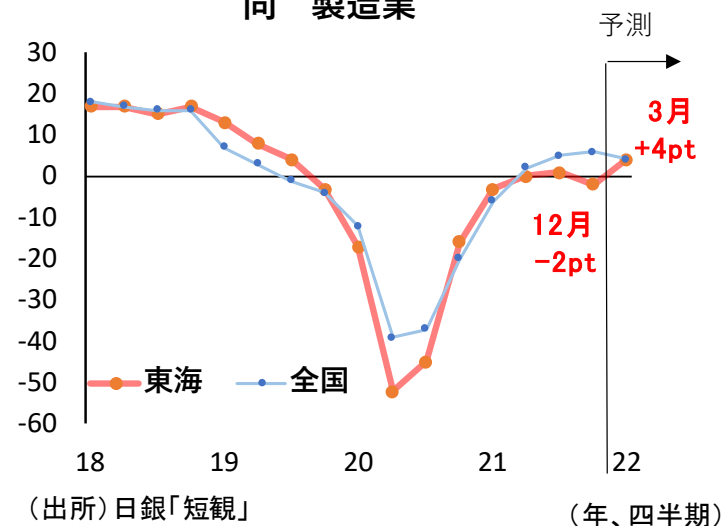
企業景況感(日銀短観) ※以下は12/13公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査の業況判断DIは全産業で-4ptと9月調査から小幅改善した。製造業は-2ptと小幅悪化して「悪い」超に、非製造業は-7ptと「悪い」超ながら改善したが、宿泊・飲食サービスなどは厳しい状態が続いている。先行きは、製造業、非製造業とも改善が見込まれている。

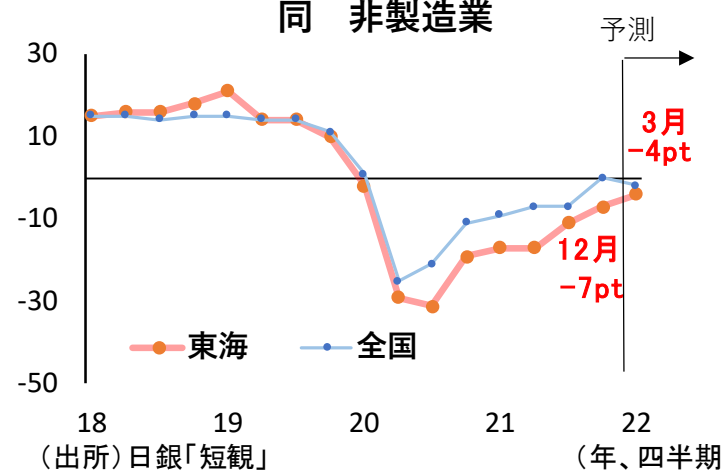
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

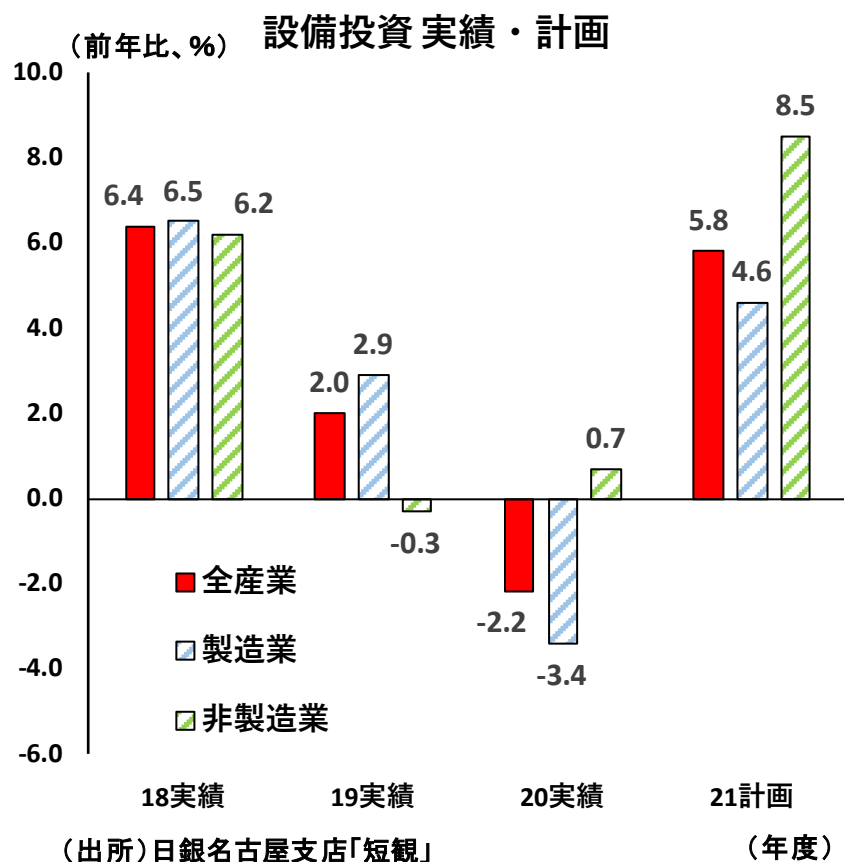


同 非製造業



設備投資※以下は12/13公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査によると、21年度の設備投資計画は、製造業が前年比+4.6%と9月調査時から小幅上方修正、非製造業は同+8.5%と下方修正となった。業種別では、対事業所サービス、不動産などで大幅増が見込まれている。



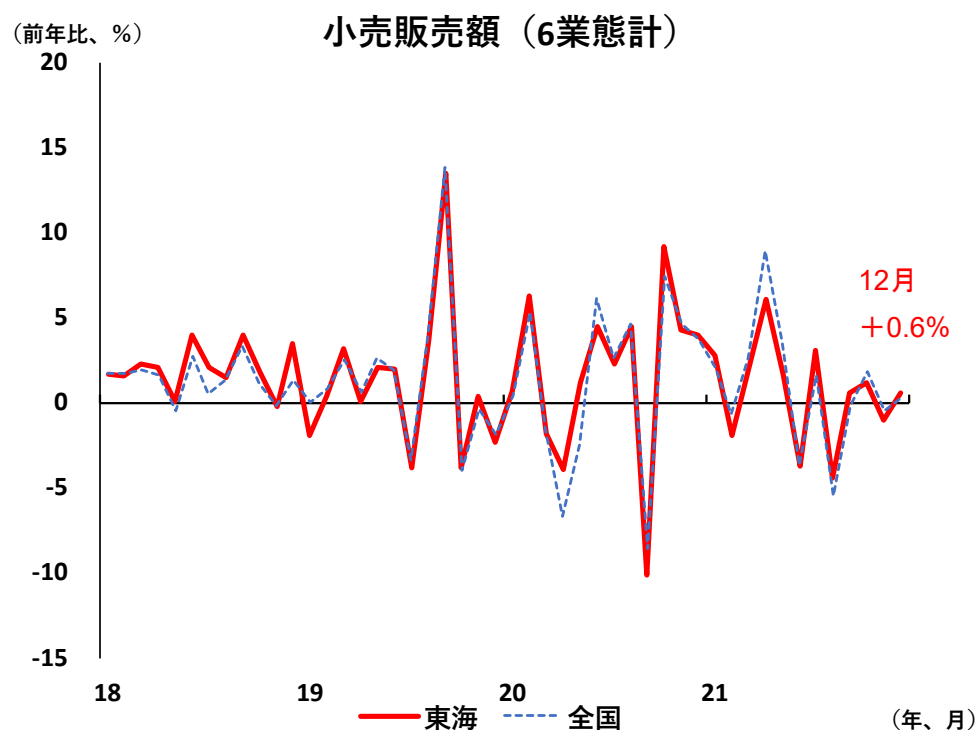
設備投資額 (前年比%)

	20年度実績	21年度計画	
		今回調査 (前回調査との差異)	前回調査
全産業	-2.2	5.8 (0.2)	5.6
製造業	-3.4	4.6 (0.4)	4.2
非製造業	0.7	8.5 (-0.5)	9.0

個人消費(小売売上、自動車販売)

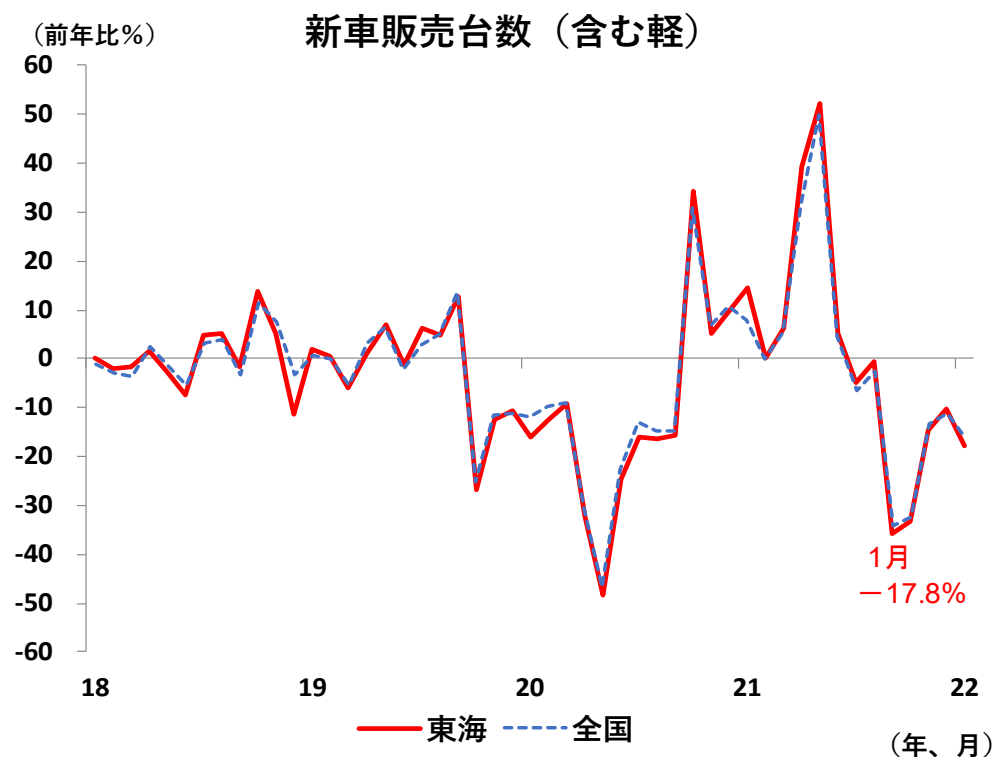
12月の小売販売額は前年比+0.6%と2ヵ月ぶりに増加した。12月はまだオミクロン株の感染拡大が急激に広がる前であったこともあり、百貨店、コンビニ、ドラッグストアが前年比で増加した。

1月の新車販売は、半導体など部品供給不足による生産調整とオミクロン株感染拡大の影響により、前年比-17.8%と7ヵ月連続で減少した(一昨年比では-6.3%)。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

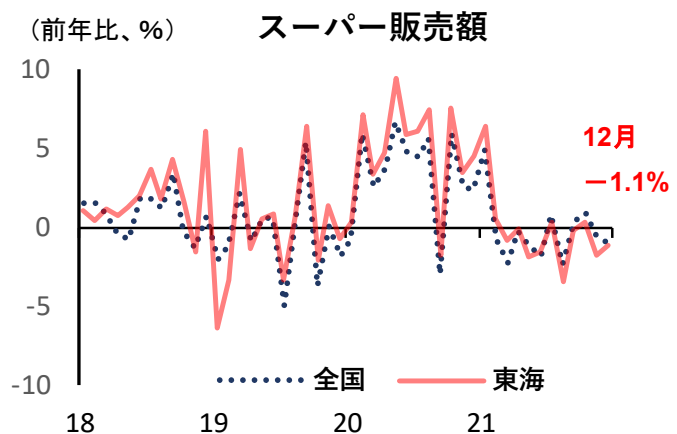


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

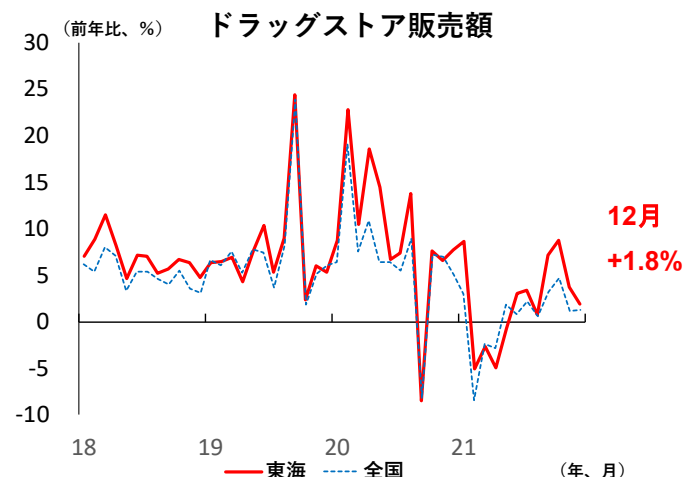
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

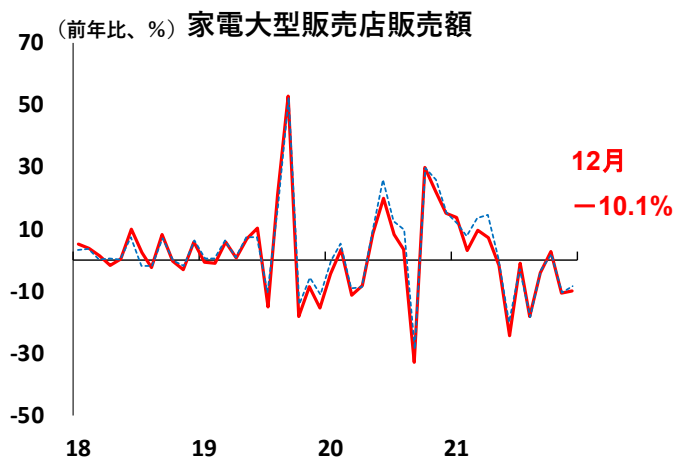
12月の小売販売(東海)を業態別にみると、スーパー、家電販売店、ホームセンターが前年比で減少した。巣ごもり需要で前年の水準が相対的に高かったことが影響した。1月の百貨店売上(名古屋)は、前年が緊急事態宣言下で低水準であった反動で前年比+22.3%となったが、一昨年比では-14.7%と低水準。



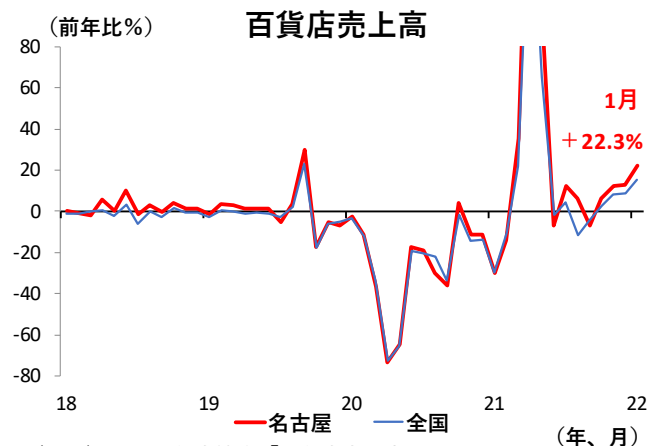
(出所) 経済産業省「商業販売動態統計」 (年、月)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」 (年、月)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」 (年、月)



(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

(注) 店舗調整後前年比

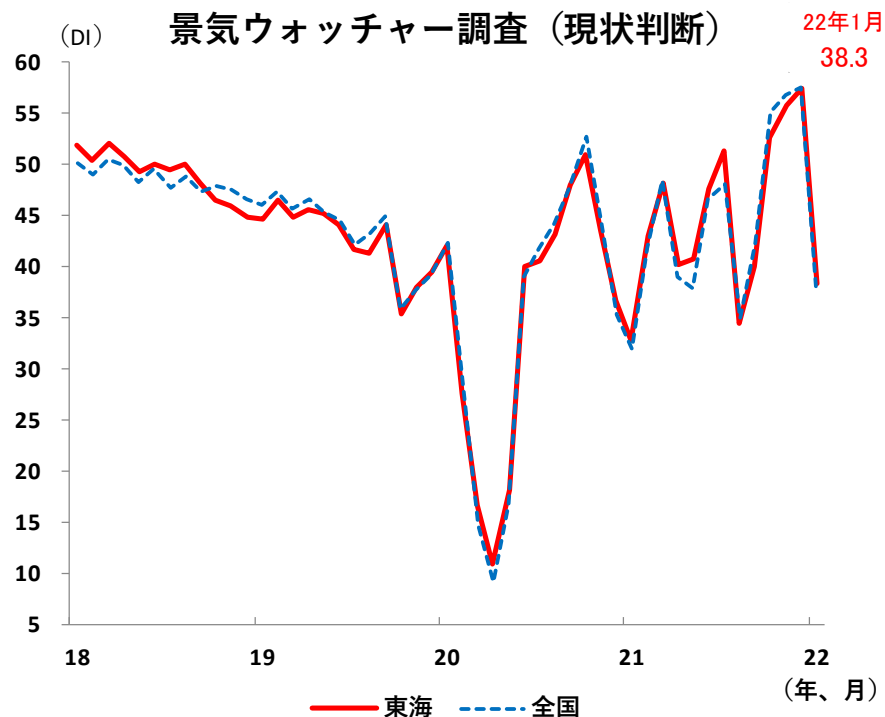
マインド・景況感

1月の消費者態度指数は35.7と前月から低下し、弱含んでいる。

1月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、38.3(前月差-19.2%pt)と大幅に低下した。オミクロン株の感染が拡大し、まん延防止重点措置が適用される中で、景況感は悪化している。



(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」

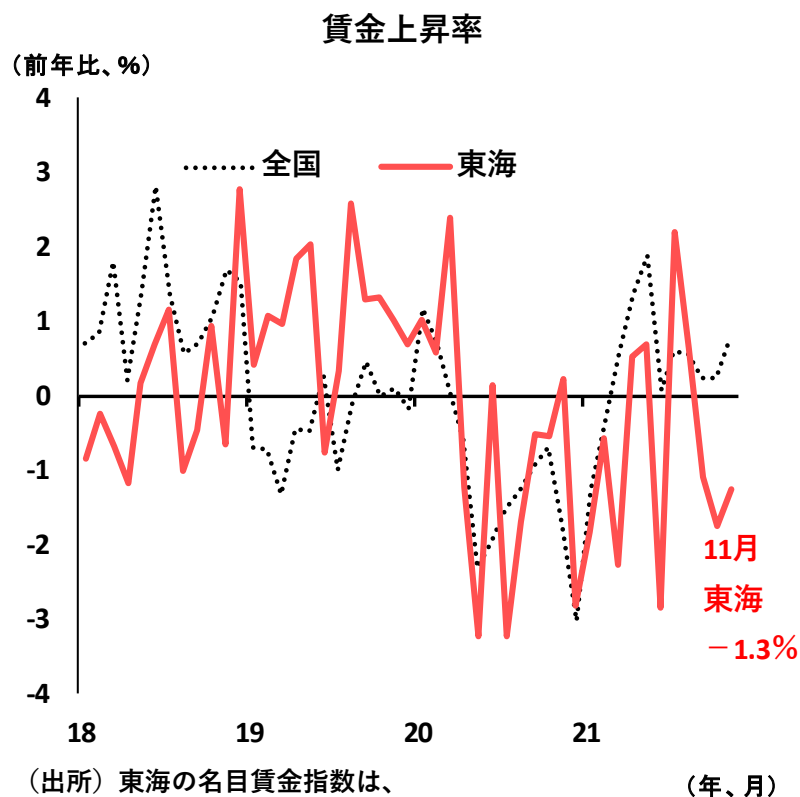


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

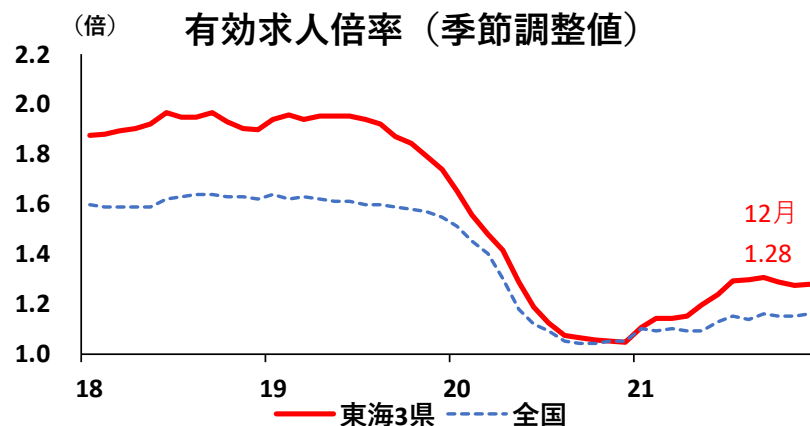
賃金・雇用

11月の名目賃金は、前年比-1.3%と3ヵ月連続で低下した。自動車の減産もあって愛知県の給与が減少した。12月の求人倍率は1.28と前月から小幅上昇。全国に比べ求職者数増加の度合いが低く、求人倍率は高めで推移している。

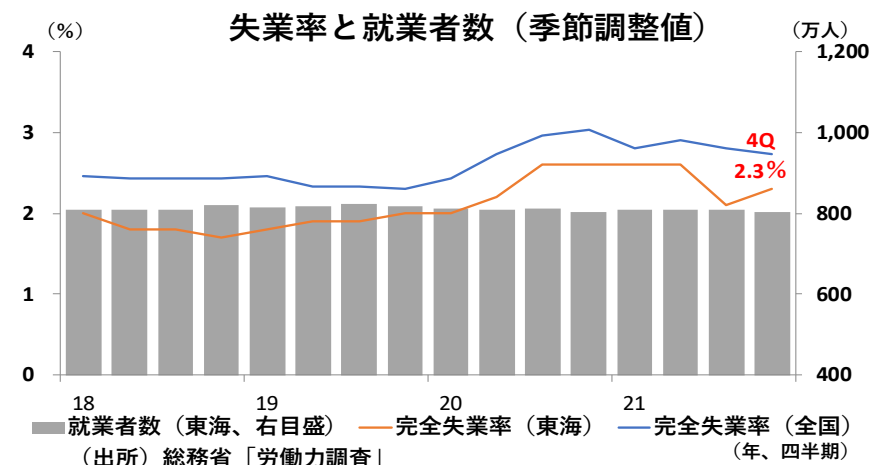
21年10-12月期の失業率は2.3%と上昇。就業者数は減少した。



(出所) 東海の名目賃金指数は、
愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成

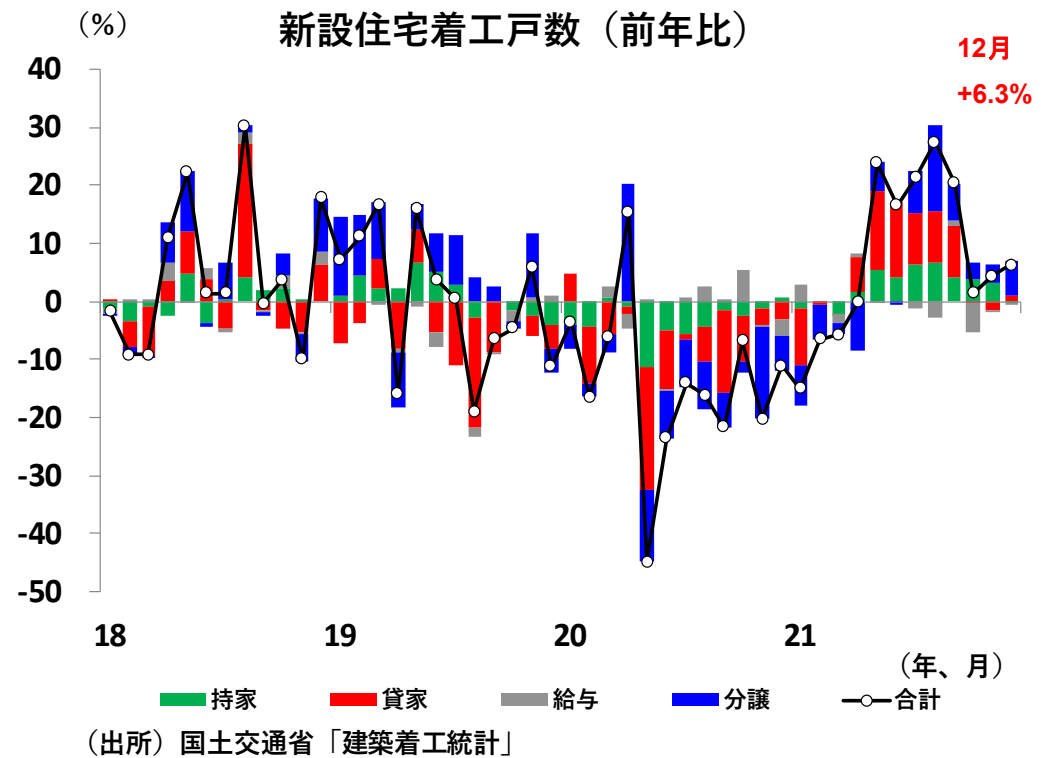
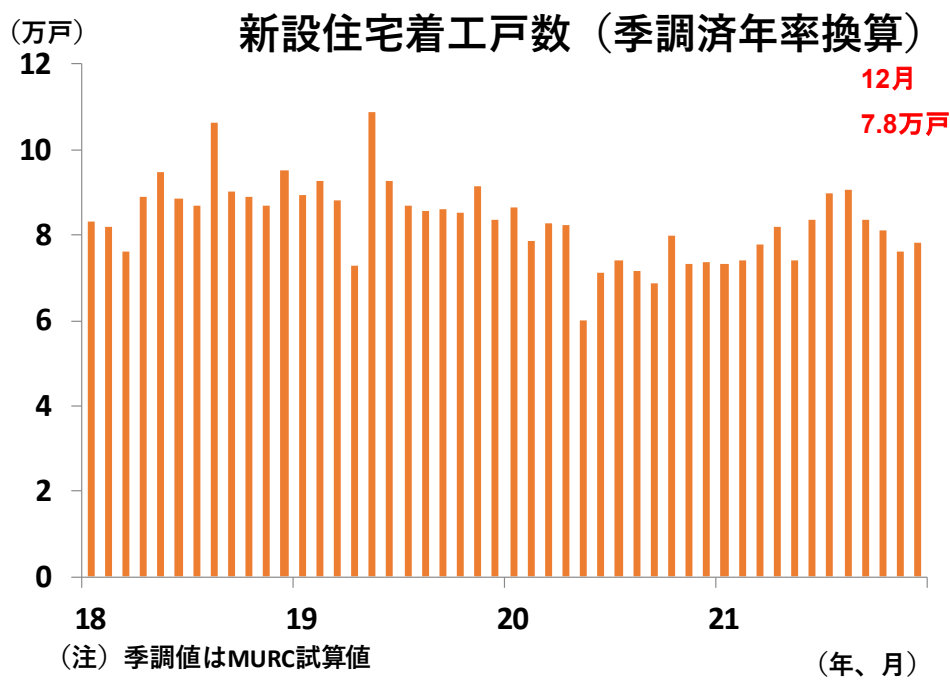


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



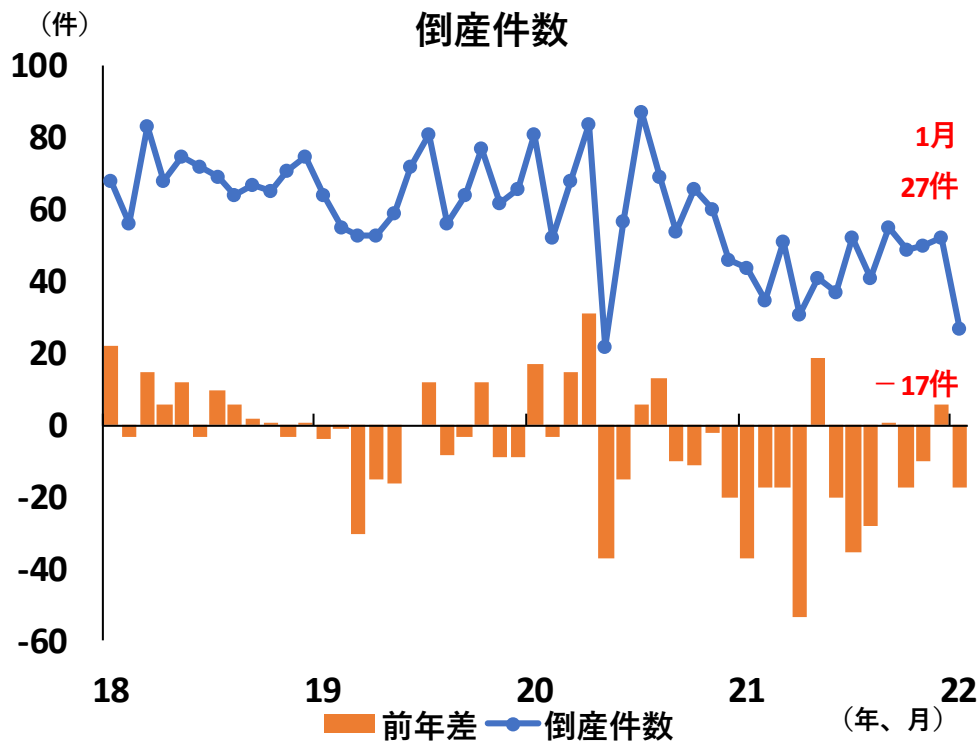
住宅投資

12月の住宅着工は季調・年率で7.8万戸と4ヵ月ぶりに増加した。前年比では+6.3%と8ヵ月連続で増加。持家が減少したが、貸家、分譲が増加した。



倒産

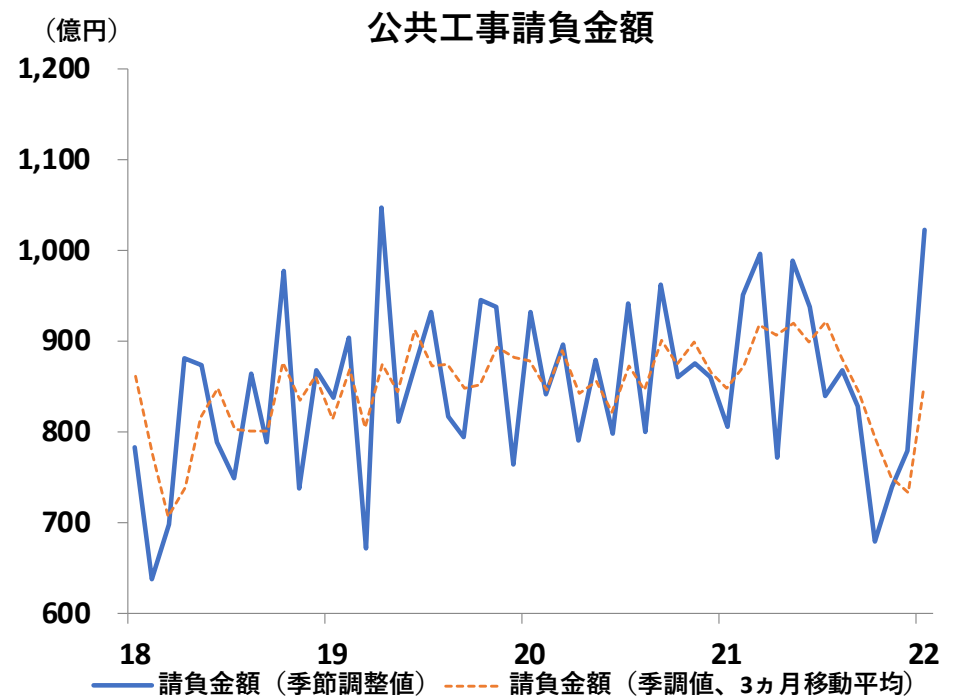
1月の倒産件数は27件と低水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共工事請負金額は、1月に愛知、岐阜でが前年比大幅増となったが、トレンドは弱い動きが続いているとみられる。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください